

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-220758(P2006-220758A)

【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2005-32047(P2005-32047)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 F

G 0 3 B 5/00 J

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ぶれを検出するぶれ検出手段と、

ぶれを補正するためのぶれ補正手段と、

前記ぶれ検出手段からのぶれ検出情報に基づいて前記ぶれ補正手段を駆動するためのぶれ補正情報を算出する演算手段と、

当該ぶれ補正装置の姿勢を検出する姿勢検出手段とを有するぶれ補正装置であって、

画像の周辺光量落ちを補正する補正情報と前記姿勢検出手段からの姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段と、

前記姿勢情報と周辺落ちを補正する前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により、前記ぶれ補正情報を補正し、該補正したぶれ補正情報により前記ぶれ補正手段を駆動するぶれ補正制御手段とを有することを特徴とするぶれ補正装置。

【請求項 2】

撮像手段と、

ぶれを検出するぶれ検出手段と、

ぶれを補正するためのぶれ補正手段と、

前記ぶれ検出手段からのぶれ検出情報に基づいて前記ぶれ補正手段を駆動するためのぶれ補正情報を算出する演算手段と、

当該光学機器の姿勢を検出する姿勢検出手段とを有する光学機器であって、

前記撮像手段により撮像される画像の周辺光量落ちを補正する補正情報と前記姿勢検出手段からの姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段と、

前記姿勢情報と周辺落ちを補正する前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により、前記ぶれ補正情報を補正し、前記ぶれ補正手段を駆動するぶれ補正制御手段とを有することを特徴とする光学機器。

【請求項 3】

画像の周辺光量落ちを補正する補正情報とぶれ補正装置の姿勢を示す姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段を有するぶれ補正装置の制御方法であって、

前記姿勢情報と周辺落ちを補正するための前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により前記ぶれ補正装置を駆動するためのぶれ補正情報を補正し、該補正したぶれ補正情報によりぶれ補正手段を駆動することを特徴とするぶれ補正装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、ぶれを検出するぶれ検出手段と、ぶれを補正するためのぶれ補正手段と、前記ぶれ検出手段からのぶれ検出情報に基づいて前記ぶれ補正手段を駆動するためのぶれ補正情報を算出する演算手段と、当該ぶれ補正装置の姿勢を検出する姿勢検出手段とを有するぶれ補正装置であって、画像の周辺光量落ちを補正する補正情報と前記姿勢検出手段からの姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段と、前記姿勢情報と周辺落ちを補正する前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により、前記ぶれ補正情報を補正し、該補正したぶれ補正情報により前記ぶれ補正手段を駆動するぶれ補正制御手段とを有するぶれ補正装置とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

同じく上記目的を達成するために、請求項2に記載の発明は、撮像手段と、ぶれを検出するぶれ検出手段と、ぶれを補正するためのぶれ補正手段と、前記ぶれ検出手段からのぶれ検出情報に基づいて前記ぶれ補正手段を駆動するためのぶれ補正情報を算出する演算手段と、当該光学機器の姿勢を検出する姿勢検出手段とを有する光学機器であって、前記撮像手段により撮像される画像の周辺光量落ちを補正する補正情報と前記姿勢検出手段からの姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段と、前記姿勢情報と周辺落ちを補正する前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により、前記ぶれ補正情報を補正し、前記ぶれ補正手段を駆動するぶれ補正制御手段とを有する光学機器とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

同じく上記目的を達成するために、請求項3に記載の発明は、画像の周辺光量落ちを補正する補正情報とぶれ補正装置の姿勢を示す姿勢情報の対応関係をあらかじめ記憶した記憶手段とを有するぶれ補正装置の制御方法であって、前記姿勢情報と周辺落ちを補正するための前記補正情報から重力補正情報を取得し、該重力補正情報により前記ぶれ補正装置を駆動するためのぶれ補正情報を補正し、該補正したぶれ補正情報によりぶれ補正手段を駆動するぶれ補正装置の制御方法とするものである。